

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	教育部教育政策課		担当課長名	鈴木 恒太	
(※)第2期実施計画の事業名	教育コミュニティづくり推進事業		財務会計上の事業名	教育コミュニティづくり推進事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5021	1	財務会計上の短縮番号	6077	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1 事業事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の教育力の向上を図り、子どもの生きる力を促進する。		
事業の対象 (誰を、何を)	市立学校園、保育所の園児・児童・生徒およびその保護者、市民		
事業の手段・方法 (どのように)	各中学校区で教育コミュニティづくり推進委員会を設置し、事業の企画、立案、実施を行う。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 22 年度～)	<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	<input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条。		

2 事業費等

区分	25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26
事業費(千円)		416		415	490	648	118.1%
報償金		236		212	330	438	155.7%
消耗品費・印刷制本費		100		13	80	130	0.0%
保険料		80		80	80	80	0.0%
人件費(人・千円)	0.35	2,310	0.35	2,310	0.30	1,880	0.30
正職員	0.25	1,950	0.25	1,950	0.20	1,520	0.20
再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.10	360	0
任期付職員(フルタイム)		0		0	0	0	-
任期付職員(短時間勤務)		0		0	0	0	-
非常勤職員		0		0	0	0	-
臨時の任用職員		0		0	0	0.10	0
支出合計A		2,726		2,725	2,370	648	87.0%
国・府支出金		188		188	188	188	0.0%
地方債							-
その他()							-
うち受益者負担B							-
一般財源C		2,538		2,537	2,182	460	86.0%
一般財源比率 C÷A	93.1%	93.1%		92.1%	71.0%		-
受益者負担率 B÷A							-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)	<input type="checkbox"/> 2 実施予定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容							

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入	
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化	<input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容				
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能		
可能の場合:導入可能な業務				
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化	<input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容				
不可能の場合:選択の理由	学校・家庭・地域の3者が協働することが基本であるため。			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内 容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)	
					25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)	
☆	活動	<input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進連絡会	回	3	3	3	3	3	
		<input type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会	回	1	1	1.0	1	1
	□	<input type="checkbox"/> 活動	<input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会 参加人数	人	52	71	71	80	100
		<input type="checkbox"/> 活動	<input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進事業参加 者人数	人	5,400	5,400	5,400	5,500	5,600
	活動	<input type="checkbox"/> 成果								
	成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない								
	選択の理由									
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついても言及して記入)	親学習の実施等、より有効な3者協働の教育コミュニティづくりの発展の可能性があるため。								

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における 事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 23 年度	<input type="checkbox"/> 未実施			
見直しの内容	H23年度、国の委託事業が補助事業(教育コミュニティづくり・学校支援地域本部・家庭教育)に変更。				
平成28年度の取組 (平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小	<input type="checkbox"/> 4 廃止	<input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	教育コミュニティづくり推進事業は学校・家庭・地域の3者協働での取組みであり、今後も継続していく。				
現在抱える課題 と その対策	課 題	地域人材の高齢化、世代交代をどう進めていくか。			
	対 策	次世代の育成を進めていくための研修会への参加要請を積極的に行い、地域だけでなく、保護者にたいしても、次世代リーダーとしての自覚を育んでいく。			
	上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針				
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小	<input type="checkbox"/> 4 廃止	<input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	教育コミュニティづくりに関わる学校支援員の高齢化に伴う次世代育成が課題である。その解決に向け、教職員と地域住民、保護者の合同研修や啓発活動の実施が重要である。その、啓発手段として重要な、コミュニティのニュースの内容を充実したものにし、他機関との連携しながら、積極的に様々な地域活動を紹介していく必要がある。				

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	教育部教育政策課		担当課長名	鈴木 恒太			
(※)第2期実施計画の事業名	学校支援地域本部推進事業		財務会計上の事業名	学校支援地域本部推進事業			
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5021	2	財務会計上の短縮番号	6080			
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち					
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興					
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進					

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1 事業事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	地域の教育力の活性化を図り、豊かな人間関係の中で子ども一人ひとりの「生きる力」と「豊かな学力」を育む。		
事業の対象 (誰を、何を)	市内中学校区(小・中学校)		
事業の手段・方法 (どのように)	学校支援地域本部を設置し、教職員、保護者、地域住民の連携を強める。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年度～)	<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	<input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条。		

2 事業費等

区分	25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26
事業費(千円)	1,588		1,441		1,517	1,553	105.3%
報償金	1,530		1,384		1,456	1,485	105.2%
消耗品費	41		40		40	40	0.0%
通信運搬費・機器借上料	17		17		21	28	0.0%
人件費(人・千円)	0.35	2,310	0.25	1,530	0.30	1,880	0.30
正職員	0.25	1,950	0.15	1,170	0.20	1,520	0.20
再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.10	360	0
任期付職員(フルタイム)		0		0		0	0
任期付職員(短時間勤務)		0		0		0	0
非常勤職員		0		0		0	0
臨時の任用職員		0		0		0	0
支出合計A	3,898		2,971		3,397	1,553	114.3%
国・府支出金	933		907		933	933	0.0%
地方債							-
その他()							-
うち受益者負担B							-
一般財源C	2,965		2,064		2,464	620	119.4%
一般財源比率 C÷A	76.1%		69.5%		72.5%	39.9%	-
受益者負担率 B÷A							-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し		
上記の内容							

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容	学校支援コーディネーターは外部人材を活用している。		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能		
可能の場合:導入可能な業務	学校に関わる学習支援、環境整備等を地域人材を活用してのコーディネーター業務。		
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容	コーディネーターに地域人材を活用することで、学校と地域のつながりをより活性化させ、業務を全うできると思われるため。		
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内 容	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値(H30)
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	学校支援地域本部の設置	校	16	16	15	15	
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーターの活動回数	回	679	737	773	800	1,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーター	人	47	39	54	60	60
		☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援員	人	1,700	1,800	1,800	1,900	2,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない	<input type="checkbox"/> C 判断できない		
	選択の理由				小学校の地域本部を含め、学校を拠点として地域の活動が活性化されてきているが、学校支援ボランティア数は目標値に達していないため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか				<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)		
	事業は効率的に実施できているか				<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)		
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				各学校支援地域本部において、有効な活用をしているが、学校支援員の人数増など改善の余地がある。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施	平成23年度	<input type="checkbox"/> 未実施		
		平成23年度より、国委託事業「学校支援地域本部事業」が補助事業に変更されたことに伴い、新たに本事業をおこした。			
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他		
上記の内容	学校を拠点として地域の活動が活性化され、よりよいコミュニティを形成する体制づくりが進んでいく。今後も継続していく。				
現在抱える課題とその対策	<input type="checkbox"/> 課題	学校と地域を結ぶ学校支援コーディネーターの人材確保、次世代人材の育成をどう進めていくか。			
対策	学校と連携をとり、地域人材の発掘、保護者世代への啓発が必要。				
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針					
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他		
選択の理由	各学校支援地域本部の情報の共有化や教職員も含めた支援員の交流の促進が必要。小中一貫教育を意識し、保・幼との連携をも深めたより幅広い活動の活性化を図る必要がある。				

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	阪 晃一	
(※)第2期実施計画の事業名	こども会育成事業		財務会計上の事業名	こども会育成事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	1	財務会計上の短縮番号	6975	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
	項目	項目3青少年の健全育成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1 事業事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	子どもの仲間集団による活動を通じて、子どもの健全な心身の発達を地域の大人の協力を得て育成する。
事業の対象 (誰を、何を)	市内在住の就学3年前の幼児から中学3年生まで
事業の手段・方法 (どのように)	地域が育む子ども会の活動を支援するとともに指導者やリーダーの養成を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続昭和 37 年度～ <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26
事業費(千円)		1,850		1,750	1,688	1,679	96.5%
主な内訳							
報奨金		1,376		1,301	1,250	1,200	96.1%
負担金		405		394	381	415	96.7%
通信運搬費		70		55	58	64	105.5%
人件費(人・千円)	0.20	1,560	0.70	2,730	0.95	4,220	0.89
内訳							
正職員	0.20	1,560	0.05	390	0.20	1,520	0.14
再任用短時間勤務職員		0	0.65	2,340	0.75	2,700	0.75
任期付職員(フルタイム)		0		0	0	0	0
任期付職員(短時間勤務)		0		0	0	0	0
非常勤職員		0		0	0	0	0
臨時の任用職員		0		0	0	0	0
支出合計A		3,410		4,480	5,908	5,415	131.9%
財源							
国・府支出金							-
地方債							-
その他()							-
うち受益者負担B							-
一般財源C		3,410		4,480	5,908	5,415	131.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A							-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し						
上記の内容	すでに市が半額補助しているが、単位子ども会の数や会員加入率が減少傾向にあるため、これ以上の保護者負担は望ましくないと考える。						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	青少年の健全育成の視点において、教育委員会が子ども会活動の支援・育成を行うことが非常に重要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標 指標値	区分	内 容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
				25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	単位子ども会数(加入率)	%	28.84	27.06	25	27	27
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	リーダーの登録数	人	204	215	189	190	180
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	会員数(幼児小学生)	人	1,751	1,564	1,516	1,450	1,500
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	主行事の参加者数	人	1,108	1,075	1,139	1,150	1,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		会員数(幼児小学生)の減少に歯止めがかかるなかつた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	各子ども会の活動内容の精選を進め、増加傾向にある幼児の参加者が、小学生になってからも引き続き参加できる活動にしていく。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	市の子ども会行事である、一泊キャンプ、ドッジボール大会、カルタ大会は現在多くの参加者がある。
現在抱える課題とその対策	子ども会参加児童数の減少。 大きな行事だけでなく、各単位子ども会の取り組みの精選をはかり、育成者を含め、幼児期に参加していた児童が小学生になってからも引き続き参加しやすい活動をしていく。
対策	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	池田市子ども会育成連絡協議会の事務局として子ども会行事への参加率を高め、指導者の育成を図ることで学校・家庭・地域が協働し、明日の池田を担う子どもの健全育成を図る。

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	教育センター		担当課長名	阪 晃一			
(※)第2期実施計画の事業名	少年団体育成事業		財務会計上の事業名	少年団体育成事業			
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	2	財務会計上の短縮番号	6980			
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち					
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興					
	項目	項目3青少年の健全育成					

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1 事業事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動の活性化を図る。		
事業の対象 (誰を、何を)	市内在住の青少年		
事業の手段・方法 (どのように)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウトに対し、行事報償金を支援することにより、青少年の健全育成団体の運営、活動の支援を行う。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～)	<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度	<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項			

2 事業費等

区分	25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26
事業費(千円)		126		126	126	126	100.0%
主な内訳	報償金	126		126	126	126	100.0%
							-
人件費(人・千円)	0.10	780	0.10	570	0.03	188	0.03 184 30.0%
内訳	正職員	0.10	780	0.05	390	0.02	152 40.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0.05	180	0.01	36
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0		-
	非常勤職員		0		0		-
	臨時の任用職員		0	0	0		-
支出合計A		906		696	314	310	45.1%
財源	国・府支出金						-
	地方債						-
	その他()						-
	うち受益者負担B						-
	一般財源C		126		126	126	100.0%
一般財源比率 C÷A		13.9%		18.1%	40.1%	40.6%	221.7%
受益者負担率 B÷A							-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)	<input type="checkbox"/> 2 実施予定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容	ボーイスカウト・ガールスカウト活動の活性化は、青少年の健全育成において非常に重要であり、教育委員会がその支援を行うことは、地域社会への理解を広げることになるため。						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能		
可能の場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	青少年健全育成団体であるボーイスカウト・ガールスカウトを支援しているため。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内 容	単 位	25 年度 (実績)	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)	28 年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	☆ 活動	活動	<input checked="" type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団員数	人	210	223	212	200
			<input type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団員数	人	91	87	87	80
	☆ 活動	活動	<input type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団数	団数	5	5	5	5
			<input checked="" type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団数	団数	2	2	2	2
有効性・効率性評価	成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 順調に推移している	<input type="checkbox"/> B 順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
			青少年健全育成団体として世界規模で活動しているボーイスカウト・ガールスカウトを支援している事業であるため。						
	選択の理由		<input type="checkbox"/> A 有効的な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
			事業は効率的に実施できているか				<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)
有効性・効率性評価	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		団員数の増加を図るために支援活動を続けていく必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	世界規模で活動している団体の支援事業であるから。
現在抱える課題とその対策	団員数の維持のため、活動の活性化を図る。
対策	広報活動の充実を支援。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	今後ともボーイスカウト・ガールスカウトの活動が継続していくように活動を支援していく必要がある。

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	教育センター		担当課長名	阪 晃一	
(※)第2期実施計画の事業名	少年の主張開催事業		財務会計上の事業名	少年の主張開催事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	3	財務会計上の短縮番号	7015	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
	項目	項目3青少年の健全育成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1 事業事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	小中学生に社会の一員としての自覚と行動を促し、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を
事業の対象 (誰を、何を)	市内小中学生の児童・生徒
事業の手段・方法 (どのように)	地域や社会から感じたこと、考えること、訴えたいことなどの作文を募集し、その中から優秀作品を選出し、応募者本人の言葉で人前で発表してもらう
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 37 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市青少年指導員設置要綱

2 事業費等

区分	25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)	28 年度 (予算)	H27/H26
事業費(千円)		63		63		79	128.6%
主な内訳							
賞賛金		27		28		32	103.6%
補助金		19		19		19	100.0%
報償金		9		10		18	90.0%
人件費(人・千円)	0.30	1,500	0.26	978	0.06	376	0.03
内訳							
正職員	0.10	780	0.01	78	0.04	304	0.02
再任用短時間勤務職員	0.20	720	0.25	900	0.02	72	0.01
任期付職員(フルタイム)		0		0		0	0
任期付職員(短時間勤務)		0		0		0	0
非常勤職員		0		0		0	0
臨時の任用職員		0		0		0	0
支出合計 A		1,563		1,041		457	263
財源							
国・府支出金							-
地方債							-
その他()							-
うち受益者負担 B							-
一般財源 C		1,563		1,041		457	263
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A							-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し						
上記の内容	受益者負担なし						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (設置要綱による事業運営)
上記の内容	青少年指導員協議会が事業運営にあたっている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単位	25 年度 (実績)	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)	28 年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	発表大会出場者数	人	18	18	18	18	18
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	応募作品数	作品	666	647	926	700	700
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	予想を上回る応募があり、内容的にも質が高いものが多い。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	子ども達が自分の思いを自分の言葉で人前で発表することにより、社会のことを理解するよい機会となっている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	作品の募集時期、発表大会の実施時期も、子ども達がしっかりと取り組める現状維持が望ましい。
現在抱える課題とその対策	<input type="checkbox"/> 課題 主張、思いを文にまとめる力、自分の言葉として発表する力の醸成。 <input type="checkbox"/> 対策 小中学校国語科等の授業で制作作品の指導をしてもらうなど、学校との連携に一層努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	社会に关心を持ち、社会の一員であるという意識を高める一助として、『少年の主張発表大会』はその機会提供として重要。今後も学校との連携が必要。

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	教育センター		担当課長名	阪 眑一			
(※)第2期実施計画の事業名	成人の集い開催事業		財務会計上の事業名	成人の集い開催事業			
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	5023	4	財務会計上の短縮番号	6970			
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち					
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興					
	項目	項目3青少年の健全育成					

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランⅡ」による。

1 事業事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	成人の日を迎えるにあたり、新成人が一堂に会して成人になったことを自覚とともに、自ら生き抜こうとする青年を祝福・激励する
事業の対象 (誰を、何を)	新成人
事業の手段・方法 (どのように)	新成人による「成人の集い」実行委員会を設置し、実行委員による運営を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 37 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26
事業費(千円)	1,248		1,261		1,289	1,293	102.2%
主な内訳	行事委託料	800	800		838	838	104.8%
	賞賛金	390	398		390	390	98.0%
	通信運搬費	55	60		59	62	98.3%
人件費(人・千円)	0.35	2,310	0.28	1,764	0.17	1,212	0.17
内訳	正職員	0.25	1,950	0.18	1,404	0.15	1,140
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.02	72
	任期付職員(フルタイム)		0	0		0	0
	任期付職員(短時間勤務)		0	0		0	0
	非常勤職員		0	0		0	0
	臨時の任用職員		0	0		0	0
支出合計A	3,558		3,025		2,501	2,475	82.7%
財源	国・府支出金						-
	地方債						-
	その他()						-
	うち受益者負担B						-
	一般財源C	3,558		3,025		2,501	2,475
一般財源比率 C÷A	100.0%		100.0%		100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A							-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)	<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し			
上記の内容	受益者負担なし						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	会場(池田市民文化会館)の使用についてはISSに業務委託しており、式典運営についてもつとも精通しており、その経験と実績により充実した行事の遂行が確保されているため。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	新成人による実行委員会の活動はアウトソーシングに適さないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内 容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
					67	65	67	67	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		参加率	%					
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		参加者数	人	699	695	666	650	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
	<input type="checkbox"/> 選択の理由		成人を祝福するにふさわしい会を運営することができ、参加率も若干増加に転じた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		・舞台業者に委託したゲスト出演者の演目が会の趣旨にふさわしいものとなるよう、今後、出演者の演目・内容等について確認していく必要がある。 ・実行委員が積極的に運営に携われるよう、事務局もサポートしながら、今後も新しい内容や方向性を検討していく。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	新成人が運営することにより、参加者も毎年一定の参加率があり、自覚を持ってもらえている。
現在抱える課題とその対策	舞台業者に委託したゲスト出演者の演目について、会の趣旨にふさわしいものかどうか、内容の把握をしてこなかった。
対策	舞台業者に委託したゲスト出演者の演目が会の趣旨にふさわしいものとなるよう、今後、出演者の演目・内容等について確認していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	これから地域を支える青少年の健全育成のため、運営に協力をいたしている青少年指導員協議会とともに市を上げて新成人を祝う意味は大きい。